１　宮古市教育委員会の事務に関する点検・評価について

（１）趣旨

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、令和２年度（2020年度）に宮古市教育委員会が取り組んだ事務の管理及び執行状況について点検・評価をし、課題や取組みの方向を明らかにするものです。

点検・評価については、その結果を市議会に報告するとともに、市民に公表し、効果的で開かれた教育行政の推進を図ります。

（２）点検・評価の対象

宮古市総合計画（前期基本計画）では、教育に関する基本施策として「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を掲げており、これを推進するため施策の体系を「学校教育の充実」、「生涯学習の推進」、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「文化の振興」としています。

また、「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を推進するための教育行政における具体的施策を示した「宮古市教育振興基本計画（2020-2024）」においても同様の施策の体系としています。

本報告書では、教育委員会の活動状況及び「宮古市教育振興基本計画（2020-2024）」に基づき実施した主な事務事業の執行状況を点検・評価の対象としています。

（３）点検・評価の方法

令和２年度（2020年度）の主要な事務事業の点検・評価を教育委員会内部で行ったうえで、教育に関し学識経験を有する４人の方から外部の視点によるご意見を伺いました。

氏名	所属
畚岩　敏雄	宮古地区退職校長会事務局長
三村　敬之	宮古市社会教育委員
石崎　勝正	宮古市スポーツ推進審議会委員
小野寺　文雄	宮古市社会教育委員

参考　地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和３１年法律第１６２号）（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（４）点検・評価表の構成

ア　施策

宮古市教育振興基本計画（2020-2024）における「１　学校教育の充実」「２　生涯学習の推進」「３　スポーツ・レクリエーションの振興」「４　文化の振興」の４つの施策です。

イ　基本事業

宮古市教育振興基本計画（2020-2024）における２２の基本事業で、詳細は次のページに記載しています。

ウ　施策・基本事業の方向

施策・基本事業の基本方向を記載しています。

エ　事務事業費

事業全体の決算額を千円単位（千円未満は切り上げ）で記載しています。

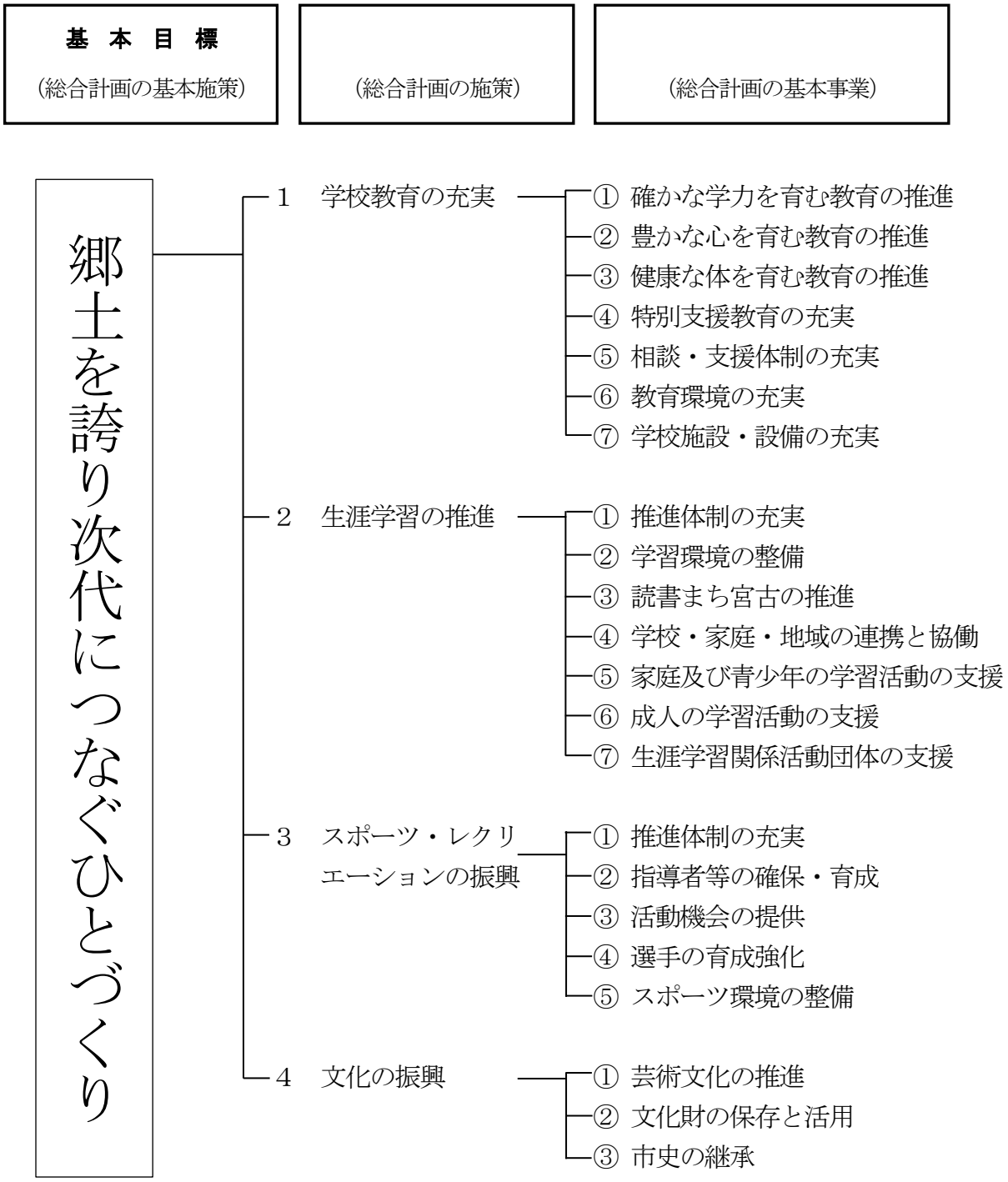
オ　活動実績・成果

主な活動実績を記載しています。

カ　施策の総括

施策の事業ごとに評価の総括を記載しています。

（５）宮古市教育振興基本計画（2020-2024）・施策の体系



２　教育委員会の活動状況について

（１）教育委員会について

教育委員会は、創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習、学校その他の教育機関の設置・管理、学校教育、社会教育、スポーツ、文化等の教育行政を一体的に推進する、市長からは独立した合議制の執行機関です。

（２）教育委員会の組織

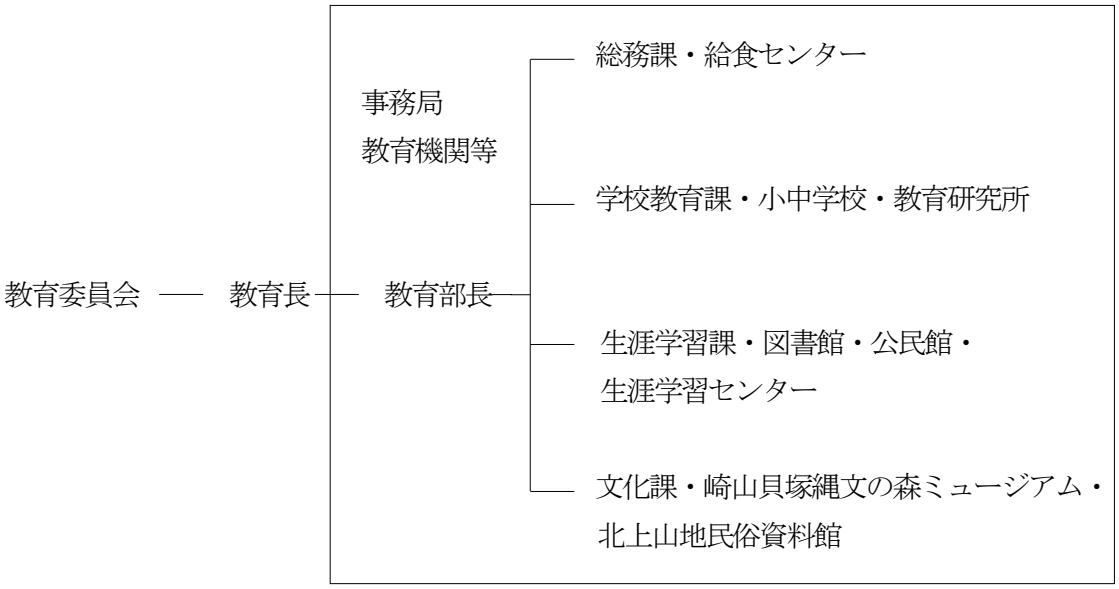
宮古市教育委員会は、教育長及び４人の教育委員で組織されています。

教育長及び教育委員は、人格が高潔で、教育、学術、文化等に関して識見を有する者を市長が市議会の同意を得て任命します。

教育長の任期は３年、教育委員の任期は４年で、再任されることもあります。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。

また、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどり、統括し、所属の職員を指揮監督します。



（３）教育委員会委員の構成

（令和２年度）

職　　名 氏　　名	委員としての任期	教 育 長 任 期 （教育長職務代理者任期）
教　育　長 伊　藤　晃　二	―	平成２９年（2017 年）８月３０日から 令和２年（2020 年）８月２９日まで 令和２年（2020 年）８月３０日から 令和５年（2023 年）８月２９日まで
教育長職務代理者 荒　谷　榮　子	平成２９年（2017 年）８月３０日から 令和３年（2021 年）８月２９日まで	平成２９年（2017 年）８月３０日から 次の職務代理者が指名されるまで
委　　員 橋　本　美　紀	令和元年（2019 年）８月３０日から 令和５年（2023 年）８月２９日まで	―
委　　員 平　井　亮　吉	平成２８年（2016 年）８月３０日から 令和２年（2020 年）８月２９日まで 令和２年（2020 年）８月３０日から 令和６年（2024 年）８月２９日まで	―
委　　員 杉　本　裕　樹	平成３０年（2018 年）８月３０日から 令和４年（2022 年）８月２９日まで	―

（４）総合教育会議の開催状況及び審議内容

総合教育会議は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、平成２７年度から設置しています。

令和２年度は、１回開催し協議内容は次のとおりです。総合教育会議は全て公開で開催しました。

会議名／期日	会場	承認／協議	件　　名
第１回総合教育会議 ７月３日	市役所４階災害対策本部室	協議事項（１）	宮古市の教育の振興に関する大綱の策定について

（５）教育委員会会議の開催状況及び審議内容

教育委員会会議は、原則として毎月１回定例会を開催し、その他必要の都度臨時会を開催しています。

令和２年度は、定例会１２回、臨時会５回の計１７回開催し、審議内容は次のとおりです。教育委員会人事案件を除く全ての教育委員会会議を公開で開催しました。

会議名／期日	会場	議案／報告	件　　名	議決要旨
４月定例会 ４月２１日	市役所４階特別会議室	議案第１号	令和元年度宮古市一般会計補正予算（第８号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決

		議案第２号	宮古市教育委員会事務局職員等の勤務時間に関する規程の一部を改正する訓令の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第３号	宮古市教育委員会安全衛生管理規程の一部を改正する訓令の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第４号	宮古市教育委員会事務局等の会計年度任用職員等の勤務時間に関する規程の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第５号	宮古市教育支援委員会委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第６号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第７号	宮古市立学校教員住宅規則の一部を改正する規則について	原案可決
		報告第１号	令和元年度第３回宮古市社会教育委員会議の会議結果について	承認
		報告第２号	令和元年度第２回宮古市立図書館協議会の会議結果について	承認
		報告第３号	令和元年度第２回宮古市スポーツ推進審議会の会議結果について	承認
５月臨時会 ５月１５日	市役所４階 特別会議室	議案第８号	令和２年度宮古市一般会計補正予算（第２号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第９号	宮古市立小学校長の年度途中の人事の内申に関し議決を求めることについて	原案可決
５月定例会 ５月２６日	市役所４階 特別会議室	議案第１０号	令和２年度宮古市一般会計補正予算（第３号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
６月定例会 ６月２５日	市役所４階 特別会議室	議案第１１号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第１２号	宮古市北上山地民俗資料館運営委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決

７月定例会 ７月２１日	市役所４階 特別会議室	議案第１３号	宮古市社会教育委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第１４号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第１５号	宮古市文化財保護審議会委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第１６号	宮古市立小学校副校長の年度途中の人事の内申に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第１号	宮古市立図書館資料選定委員会委員の委嘱について	承認
８月定例会 ８月２５日	市役所４階 特別会議室	議案第１７号	宮古市立学校の廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第１８号	宮古市教育研究所の設置場所の変更に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第１９号	宮古市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第２０号	宮古市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令	原案可決
		議案第２１号	令和２年度宮古市教育委員会の点検評価結果について	原案可決
		議案第２２号	令和３年度使用教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第２３号	宮古市教育支援委員会委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第２４号	宮古市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		報告第１号	令和２年度第１回宮古市総合教育会議の開催結果について	承認
		報告第２号	令和２年度第１回宮古市社会教育委員会議の会議結果について	承認
８月臨時会 ８月３１日	市役所４階 特別会議室	議案第２５号	宮古市教育長職務代理者の指名について	原案可決

９月定例会 ９月１７日	市役所４階 特別会議室	議案第２６号	令和２年度宮古市一般会計補正予算（第８号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第２７号	令和２年度宮古市一般会計補正予算（第９号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第２８号	宮古市社会教育委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めるについて	原案可決
１０月定例会 １０月２１日	市役所４階 特別会議室	報告第１号	宮古市議会定例会令和２年９月定例会議一般質問に係る答弁について	承認
		報告第２号	令和２年度第１回宮古市スポーツ推進審議会の会議結果について	承認
１１月定例会 １１月２５日	市民交流センター１階 会議室３	報告第１号	令和２年度第１回宮古市文化財保護審議会の会議結果について	承認
		報告第２号	令和２年度宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の会議結果について	承認
		報告第３号	令和２年度第１回宮古市北上山地民俗資料館運営委員会の会議結果について	承認
１２月定例会 １２月１６日	市民交流センター１階 会議室３	議案第２９号	令和２年度宮古市一般会計補正予算（第１２号）に関する臨時専決　処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第３０号	令和２年度宮古市一般会計補正予算（第１３号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第３１号	宮古市立津軽石小学校に勤務する教員の処分に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第１号	宮古市議会定例会令和２年１２月定例会議一般質問に係る答弁について	承認
１月定例会 １月２８日	市役所４階 特別会議室	議案第３２号	令和２年度宮古市一般会計補正予算（第１５号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		議案第３３号	宮古市いじめ問題対策委員会委員の任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	原案可決
		報告第１号	令和２年度第１回宮古市立図書館協議会の会議結果について	承認

２月臨時会 ２月８日	市役所４階 特別会議室	議案第３４号	令和３年度宮古市教育行政方針に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第３５号	令和３年度宮古市教育行政施策の方針と重点に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第３６号	令和３年度宮古市一般会計予算（教育関連予算）に関し議決を求めることについて	原案可決
２月定例会 ２月２４日	市役所４階 特別会議室	議案第３７号	令和２年度宮古市一般会計補正予算（第１７号）に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第３８号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて（亀岳小学校）	原案可決
		議案第３９号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて（中央公民館）	原案可決
３月臨時会 ３月４日	市役所４階 特別会議室	議案第４０号	令和３年度宮古市立小中学校長等の人事の内申に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第１号	赤前小学校の統廃合について	承認
３月臨時会 ３月２３日	市役所３階 入札室	議案第４１号	教育委員会事務局職員等の人事異動に関し議決を求めることについて	原案可決
３月定例会 ３月２６日	市役所４階 特別会議室	議案第４２号	宮古市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第４３号	宮古市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第４４号	宮古市公民館条例施行規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第４５号	宮古市教育委員会事務局職員等の勤務時間に関する規程の一部を改正する訓令	原案可決
		議案第４６号	宮古市教育委員会事務局職員等の会計年度任用職員の勤務時間に関する規程の一部を改正する訓令	原案可決
		議案第４７号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて（千徳小学校）	原案可決
		議案第４８号	宮古市公民館運営審議会委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第１号	宮古市議会定例会令和３年３月定例会議一般質問に係る答弁について	承認

		報告第２号	令和２年度第２回宮古市社会教育委員会議の会議結果について	承認
		報告第３号	令和２年度第２回宮古市文化財保護審議会の会議結果について	承認

（６）教育委員会に係る条例改正、規則改正等について

令和２年度における教育委員会に係る条例改正及び教育委員会会議で審議された教育委員会規則等の改正は、次のとおりです。

≪条例改正≫

公布年月日	条例番号	件　　名
令和２年 ５月２９日	宮古市条例 第２３号	宮古市奨学資金貸付条例の一部を改正する条例
令和２年 ９月３０日	宮古市条例 第３９号	宮古市立教育研究所設置条例の一部を改正する条例 （宮古市教育委員会８月定例会議案第１８号に関連）
	宮古市条例 第４１号	宮古市立学校条例の一部を改正する条例 （宮古市教育委員会８月定例会議案第１７号に関連）
	宮古市条例 第４２号	宮古市学校施設設備基金条例の一部を改正する条例
令和３年 ３月２５日	宮古市条例 第１３号	宮古市公民館条例の一部を改正する条例

≪規則改正≫

公布年月日	規則番号	件　　名
令和２年 ４月２３日	宮古市教育委員会 規則第５号	宮古市立学校教員住宅規則の一部を改正する規則
令和２年 １０月７日	宮古市教育委員会 規則第６号	宮古市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則の一部を改正する規則
令和３年 ３月３１日	宮古市教育委員会 規則第１号	宮古市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則
	宮古市教育委員会 規則第２号	宮古市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則の一部を改正する規則
	宮古市教育委員会 規則第３号	宮古市公民館条例施行規則の一部を改正する規則

≪訓令改正≫

制定改廃年月日	訓令番号	件　　名
令和２年 １０月７日	宮古市教育委員会 訓令第７号	宮古市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令
令和３年 ３月３１日	宮古市教育委員会 訓令第１号	宮古市教育委員会事務局職員等の勤務時間に関する規程の一部を改正する訓令
	宮古市教育委員会 訓令第２号	宮古市教育委員会事務局職員等の会計年度任用職員の勤務時間に関する規程の一部を改正する訓令

３　施策別の主要事務の点検・評価

１　学校教育の充実
① 確かな学力を育む教育の推進
② 豊かな心を育む教育の推進
③ 健康な体を育む教育の推進
④ 特別支援教育の充実
⑤ 相談・支援体制の充実
⑥ 教育環境の充実
⑦ 学校施設・設備の充実
※学校教育の充実の総括

２　生涯学習の推進
① 推進体制の充実
② 学習環境の整備
③ 読書まち宮古の推進
④ 学校・家庭・地域の連携と協働
⑤ 家庭及び青少年の学習活動の支援
⑥ 成人の学習活動の支援
⑦ 生涯学習関係活動団体の支援
※生涯学習の推進の総括

３　スポーツ・レクリエーションの振興
① 推進体制の充実
② 指導者等の確保・育成
③ 活動機会の提供
④ 選手の育成強化
⑤ スポーツ環境の整備
※スポーツ・レクリエーションの振興の総括

４　文化の振興
① 芸術文化の推進
② 文化財の保存と活用
③ 市史の継承
※文化の振興の総括

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	１	学校教育の充実	担当課名
基本事業	①	確かな学力を育む教育の推進	学校教育課

施策・基本事業の方向

・学習の基盤をつくるため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、幼・小・中が連携しながら「確かな学力」を育む教育を推進します。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	21,247 千円

活動実績・成果

［教育研究所運営事業］

・学校との連携を進め、教育課程や教材、教育指導技術等の調査研究を行い、教職員の資質向上を図った。教育研究所研究発表会において、実践の成果を各校に広めることができた。

［学力向上事業］

・教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図るため、小中学校において教育研究、学力検査、調査研究等を行った。また、指導力向上を図るための研修会等を実施した。

・小学生の学力向上のため放課後学習支援員を２人配置して、市内１０校の小学校にて放課後の学習支援を行った。

［総合学習推進事業］

・各小学校が主体となって行う「総合学習」を支援するため、児童生徒が探究的な学習を通し、自ら考え行動する力の育成を図った。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	１	学校教育の充実	担当課名
基本事業	②	豊かな心を育む教育の推進	学校教育課

施策・基本事業の方向

・ふるさと宮古に誇りを持ち、他人と協調し相手を思いやり、感謝する気持ちなど「豊かな心」を育む教育を推進します。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	45,131 千円

活動実績・成果

［国際理解促進事業］

・小中学校にＡＬＴを５人派遣し、言語や文化に対する理解を深めるとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと等について、コミュニケーション能力の基礎を育むことができた。

［キャリア教育事業］

・新型コロナウイルス感染防止の観点から、計画していた産業まつりでの「ものづくり体験教室」は実施できなかった。

［子ども読書活動支援事業］

・学校図書館支援員を１１人配置し、小中学校図書館の環境整備、学校が行う図書関連行事、読書に関する啓発活動等を行い、児童生徒の読書に対する意識を高めることができた。

［復興教育事業］

・「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の３つの教育的価値を関連付けた活動や、様々な地域の中学生と交流する活動の中で、改めて自分の郷土のことを見つめ直した。

［交流事業］

・「宮古市・室蘭市生徒交流事業」、「沖縄県多良間村交流事業」は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。沖縄県多良間村からは、児童生徒の作品を送ってもらい宮古市市民交流センターに展示して交流を図ることができた。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	③	健康な体を育む教育の推進	学校教育課、教委総務課
施策・基本事業の方向 ・生涯を通じて活力ある生活を送る基礎となる「健康な体」を育む教育を推進します。			
事務事業費（令和２年度決算見込額）			304,064 千円
活動実績・成果			
[宮古・ＪＨＳパワーアップ事業] ・中学校の部活動において、スクールバスの運行及び会場使用料の支援により、複数校での活動を推進し、適正人数に満たない部活動の活性化及び合同練習による技術等の向上を図った。 [保健事業] ・児童生徒の健康管理のため、定期健康診断を実施した。 ・市内全小中学校でフッ化物洗口事業を実施した。また、学校歯科医の指示書のもと、各校において安全に配慮しながら実施した。 [学校給食] ・食材の放射性物質検査と地産地消に取組み、安心、安全な学校給食を提供した。また、市内全小中学校の児童生徒を対象に食育指導を行った。 ・オリンピック・パラリンピック競技大会でのホストタウンとして「ナミビア共和国」「シンガポール共和国」にちなんだ給食を提供し、異国の食文化の理解を深めた。			

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	④	特別支援教育の充実	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・特別な支援を必要とする子どもに対し、適切な支援体制の継続を図ります。			
事務事業費（令和２年度決算見込額）			73,977 千円
活動実績・成果			
[幼児言語障害教育事業（ことばの教室）] ・「幼児ことばの教室」において、言語に障害や遅れがある就学前の子どもと保護者を対象に、発音の仕方や発達への不安等について、指導及び相談を行った。 [特別支援教育事業] ・特別な支援が必要な児童生徒が在籍している小中学校に特別支援教育支援員（１６校：３２人）、介助員（１校：２人）を配置し、学校生活における支援や指導を行った。			

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	１	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑤	相談・支援体制の充実	学校教育課

施策・基本事業の方向

・いじめや不登校などの事案に対して、関係機関と連携して対応していきます。災害により影響を受けた子どもに対し、長期的な心のケアを継続して行います。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	23,092 千円

活動実績・成果

［教育相談事業］

・教育研究所に教育相談員を１人配置し、児童生徒本人や保護者からの相談（電話３件、面接７０件、訪問４０件）を受けた。児童生徒の状況を細やかに把握することができ、相談事項については、学校訪問を行い指導の状況等を確認し、学校、サーモン教室及びその他関係機関と連携して取組みを進めた。

［不登校児童生徒支援事業（サーモン教室）］

・教育研究所内に「サーモン教室」を設置し、不登校児童生徒指導員３人を配置した。通級児童生徒に相談指導を行った。指導主事、学校との連携を図り、児童生徒の現状把握や「サーモン教室」の利用について、一人ひとりに応じた指導を行い、学校復帰や高校進学につなげることができた。

［学校支援推進事業］

・学校支援員を配置し、学校の事情に応じた学習支援や生徒への対応がきめ細やかに行われ、学校生活の安定や基礎学力の向上に効果があった。

・部活動指導員を配置し、教職員の勤務負担軽減及び多忙化解消に向けて取り組むことができた。

［魅力ある学校づくり調査研究事業］

・不登校児童生徒に対する効果的な支援を行うため、第一中学校区をモデルとした調査研究を実施した。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑥	教育環境の充実	学校教育課

施策・基本事業の方向

・複雑化、多様化する学校現場の課題解決に向け、保護者や地域が参画するコミュニティ・スクールを支援します。経済的な理由や地理的条件により就学が困難な子どもに対して援助や支援を行います。望ましい学校規模という視点で小中学校を適正に配置し、通学路の安全確保も含め子どもの教育環境の充実を図ります。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	342,300 千円

活動実績・成果

［育英事業］

・経済的な理由で修学困難な者に対して奨学資金の貸付を行った。

［就学援助事業］

・経済的に就学困難な児童の保護者に対して、国の援助に関する法律に基づき必要な援助を行った。

［就学事務事業］

・令和３年度の小学校入学予定者３４５人に対し、健康診断及び知能検査を実施した。

［特別支援教育就学奨励事業］

・特別支援学級の児童生徒の保護者に対して、その負担能力に応じて必要な経費（学用品費、修学旅行費及び学校給食費）の補助を行った。

［教育助成事業］

・小中学校の文化・体育活動及び教育関係団体（小規模・複式研究会、学校保健会等）に対して補助を行った。

・交通機関利用以外の遠距離通学の児童生徒を持つ家庭に対し、１世帯あたり３万円の助成を行った。

［児童生徒通学委託事業］

・遠距離通学者（通学距離片道４ｋｍ以上の小学生、片道６ｋｍ以上の中学生）の利便を図るため、スクールバス、タクシーによる登下校の送迎を実施し、小学生１９６人、中学生１２４人が利用した。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	１	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑦	学校施設・設備の充実	学校教育課、教委総務課

施策・基本事業の方向

・子ども一人ひとりの情報活用能力を向上させるため、環境の整備や適切な情報の選択・活用と同時に、犯罪の未然防止に取組みます。安全で適正な学習環境を確保するため、学校施設の改善を推進します。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	1,607,933 千円

活動実績・成果

[学校管理事業]

・小中学校施設の維持管理を行うとともに、児童の教育環境の改善を図るため、山口小学校暖房設備改修工事、第一中学校内部大規模改修工事、崎山中学校校舎屋根等改修工事、市内小中学校のトイレ洋式化工事等を行った。

・令和３年度から１０年間を計画期間とした「小中学校施設長寿命化計画」を策定した。

・小中学校の管理運営に必要となる経費の執行及び物品の整備を行った。

[冷房設備設置事業]

・熱中症対策として、市内小中学校の校長室及び職員室等に冷房設備を設置する工事を行った。

[宮古小学校校舎改築事業]

・老朽化した宮古小学校の普通教室棟を解体し、階段棟等を建築した。

[中学校太陽光発電システム整備事業（震災対応分）]

・災害時に避難所としての最低限の電気を確保できるように、宮古西中学校及び崎山中学校に太陽光発電設備を整備する工事を行った。

[手洗器自動水栓化事業（新型コロナ）]

・新型コロナウイルス感染対策として、既存の手洗水栓から自動水栓に改修する工事を行った。

[施設等災害復旧事業（元年台風 19 号ほか）]

・令和元年台風１９号により被災した磯鶏小学校校庭の地質調査解析業務委託及び重茂中学校校内通路の災害復旧工事を行った。

・令和２年９月の大雨により被災した重茂中学校校内通路の災害復旧工事を行った。

[教材等整備事業]

・小中学校の消耗品、備品、学校図書、理科教育備品等の教材を整備し、学校教育の充実を図った。

[教育用コンピュータ整備事業]

・児童生徒の情報教育を推進するため、教育用コンピュータ等の整備を行った。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	ー	ー	学校教育課、教委総務課

施策・基本事業の方向

・新型コロナウイルス感染症による影響への対策として、奨学金の貸付額の増額、学校図書の充実、感染予防に係る衛生用品や備品の購入、在宅での学びに対応するための教育用コンピュータの整備を行います。

・教育委員会の活動内容を広く市民に周知するため、宮古市教育委員会だよりを発行します。

・宮古市の子どもを対象にした「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」を育むために実施する市内で活動する個人、団体等に対し、教育振興基金を活用した「生きる力を育む事業補助金」を予算の範囲内で交付します。

・東日本大震災により保護者が死亡し、又は行方不明となった児童生徒に対し、東日本大震災教育支援金を支給します。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	270,622 千円

活動実績・成果

[育英事業（新型コロナ）]

・新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した奨学生（継続貸付者）に対し、貸付額の増額を行った。

[子ども読書活動支援事業（新型コロナ）]

・学校図書を購入し、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業時及び外出抑制時の在宅における児童生徒の読書活動の充実を図った。

[教育用コンピュータ整備事業（新型コロナ）]

・新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業等においても児童生徒の学びを保障できる体制をつくるため、教育用コンピュータ等の整備を行った。

[感染症対策・学習保障支援事業（新型コロナ）]

・児童生徒の新型コロナウイルス感染予防のため、マスク、消毒液、空気清浄機等を購入した。

[広報「宮古市教育委員会だより」の発行]

・宮古市教育委員会だよりは、広報みやことともに年２回（８月、１月）、市内全世帯に配布し、市ホームページでも発信した。

[教育振興基金事業「生きる力を育む事業補助金」]

・市内で活動の拠点がある４団体に対し、教育振興基金を活用した事業費の補助を行った。

[東日本大震災教育支援金事業（震災対応分）]

・震災で保護者を亡くした児童生徒（延べ２２人）に対し、支援金及び定期金を支給した。

[大学生修学継続支援事業（新型コロナ）]

・新型コロナウイルス感染症の影響により、修学継続が困難となっている大学等の学生７８７人に対し、１人５万円の支援金を支給した。

「学校教育の充実の総括」

① 確かな学力を育む教育の推進

・児童生徒の学習の基盤をつくるため、主体的・対話的で深い学びの機会をさらに充実させるには、「指導と評価の一本化」の実現に向けた授業改善を図っていく必要があります。

・教職員の資質向上を図るため、教育課程、教材、教育指導技術等の調査研究を行ってまいります。今後は、ＩＣＴ機器の効果的な活用が各学校において実践されるよう、ＩＣＴ支援員を配置し支援を行っていく必要があります。

・教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図るため、小中学校において教育研究、学力検査、調査研究等を行いました。引き続き児童生徒の実態を適切に捉え、教員が授業改善を図っていけるよう支援し、研修会等の開催をしてまいります。

② 豊かな心を育む教育の推進

・学校図書館支援員を活用し、学校が行う図書関連行事、読書に関する啓発活動等を行うとともに、学校図書館の環境整備をしていく必要があります。

・外国語指導助手を活用して、言語や異文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の基礎を育みながら、自尊感情を高める教育の充実を図っていく必要があります。

③ 健康な体を育む教育の推進

・児童生徒の体力や健康状態等を把握し、学校での教育活動や中学校の部活動の複数校での活動を推進し、適正人数に満たない部活動の活性化及び合同練習による技術等の向上を図ってまいります。

・児童生徒の保健管理を徹底するため、市内全小中学校において、安全に配慮しながら食生活の指導及び口腔衛生を実施してまいります。

④ 特別支援教育の充実

・支援が必要な児童生徒が、個々の状況に合った支援を受けるため、学校に特別支援教育支援員及び介助員を配置しております。今後も児童生徒が充実した学校生活を送る支援体制を継続する必要があります。

⑤ 相談・支援体制の充実

・教育研究所を中心に教師、児童生徒及び保護者に対する相談活動を実施するとともにこども発達支援センターやスクールカウンセラー、医療、福祉などの専門機関と連携した細やかな対応を行ってまいります。

・学校支援員を配置し、一人ひとりに応じた指導を行うことで中学生の学校生活の安定を図ってまいります。

・教育相談員及び適応教室指導員を配置し、子どもの不登校や問題行動などに適切に対処し、家庭、地域及び関係機関との連携による教育相談体制の充実に努めてまいります。

・「宮古市いじめ防止基本方針」や各学校においての「いじめ防止基本方針」に従い、いじめ問題への対策のための組織的対応を促し、迅速かつ適切にいじめ問題等に対応してまいります。

・第一中学校区で「魅力ある学校づくり」を展開し、各小中学校にはその実践を周知しながら、各中学校区における小小連携、小中連携を充実させるよう努めてまいります。

⑥　教育環境の充実

・就学援助による経済的援助の推進を図ることができました。

・運動部、文化部における児童生徒の大会出場への補助を行うことで、活動の後押しをするとともに、保護者の経済的負担を軽減することができました。

・スクールバス及びタクシーの運行により、遠距離通学児童生徒への利便が図られ、児童生徒及び保護者の通学に対する負担や不安を軽減することができました。

・児童生徒を取り巻く環境が大きく変化する中、家庭の経済的理由等により左右されることのないよう、学びを支える教育環境の充実を図ってまいります。

⑦　学校施設・設備の充実

・児童生徒がよりよい教育環境で学習ができるよう、小中学校の消耗品、備品、学校図書等を整備し、教材の充実を図りました。

・令和３年度からＩＣＴ機器を活用した情報教育に取組めるよう、教育用コンピュータ等の整備を行いました。

・児童生徒の安心、安全のため、老朽化が著しい施設の改修及び設備等の更新を行いながら適切な維持管理を図ってまいります。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	①	推進体制の充実	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・関係機関・団体等との連携による「宮古市生涯学習推進本部」及び「宮古市生涯学習推進会議」を中心に、いつでも、どこでも、だれでも学習できる環境づくりを進めます。			
事務事業費（令和２年度決算見込額）			207 千円
活動実績・成果			
[生涯学習推進体制整備事業] ・庁内で組織する生涯学習推進本部幹事会議及び本部会議並びに市民委員で構成する生涯学習推進会議を開催し、生涯学習の推進を図った。 [リーダーバンク事業] ・経験及び専門知識を有する指導者を登録し、市民団体等からの要請に応じて指導者との連絡調整を行った。 [生涯学習情報提供事業] ・生涯学習関連の催しを掲載する市民カレッジニュースを毎月５９１部発行した。 [生涯学習相談体制整備事業] ・市民の自主的な学習を支援するために、学習機会や学習の場に関する相談に対応した。 [生涯学習ボランティア育成・活動推進事業] ・生涯学習ボランティア養成講座を行い、人材の育成を図った。			

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	②	学習環境の整備	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・社会教育関連施設を計画的に改修等するとともに、施設間のネットワークを充実させ、市民の多様化、高度化する学習ニーズに対応する学習機会の充実を図ります。			
事務事業費（令和２年度決算見込額）			43,876 千円
活動実績・成果			
[社会教育関連施設整備事業] ・新里生涯学習センターの屋根等改修工事、田老公民館のトイレ洋式化工事などにより施設の整備を行った。 [新型コロナウイルス感染症対策] ・各公民館、各生涯学習センター、図書館及び各地区センターで、新型コロナウイルス感染症対策として手洗器の自動水栓化、空調設備の整備、衛生用品の配置等を行った。			

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	③	読書まち宮古の推進	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・幅広い世代の市民が気軽に読書に親しむ「読書まち宮古」を推進します。あらゆる市民が本に親しむ拠点として、さらなる図書館サービスの充実を図ります。ブックスタート事業等の読み聞かせ活動の充実や、読書習慣の形成に向けた取組み等、数多くの本との出合いを支援します。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	107,557 千円

活動実績・成果

［図書館運営事業］

・図書資料を充実させるため、蔵書を増やした。移動図書館車が老朽化していたことから、新車１台を更新し、利用しやすい環境づくりに努めた。

［子ども読書活動支援事業］

・乳幼児の心と言葉を育む「ブックスタート事業」を実施し、乳幼児期から読書に親しむ環境の充実に努めた。本の読み聞かせを行うおはなし会は、市内の新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施した。

［読書まち宮古推進事業］

・コロナ禍で市民の在宅時間が増える中、市民の読書環境を向上させるため、新刊図書を増やした。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	④	学校・家庭・地域の連携と協働	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・「地域とともにある学校」「学校を核とした地域」をつくるため、コミュニティ・スクールを推進するとともに、学校・地域・家庭が一体となった地域学校協働活動の充実を図ります。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	4,664 千円

活動実績・成果

［コミュニティ・スクール推進事業］

・地域コーディネーターを中心として、市内６校が地域学校協働活動に取り組んだ。

［教育振興運動支援］

・田老、新里、川井の各実践区において、地域ぐるみで子どもを育てる教育振興運動を支援した。

［３者合同大会「３ライズ・ミーティング」］

・学校保健会、市ＰＴＡ連合会及び教育委員会の３者共催で取り組む「３ライズ・ミーティング」は、参集形式の大会を開催する代わりに、宮古市教育委員会だよりに３者の活動を紹介する記事を掲載した。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑤	家庭及び青少年の学習活動の支援	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・家庭、地域の教育力の向上を図るため、子育てなどに関する学習機会の提供や相談体制づくりを進めます。心豊かな青少年を育成するため、社会全体で子どもを育てる環境づくりを支援します。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	1,092 千円

活動実績・成果

[乳幼児期家庭教育学級]

・子育てに役立つ知識の習得と、親同士が交流をきっかけに悩みの解決手法や情報交換をする場を提供するため、乳幼児期家庭教育学級を年４回開催し、延べ５０人が参加した。

[幼児期家庭教育学級]

・幼稚園、保育所等において行われる家庭教育学級の実施を支援する体制をつくったが、利用実績は無かった。

[小・中学校期家庭教育学級]

・小中学校において行われる家庭教育学級の実施を支援した。１２学級（７８７人）が家庭教育について学びを深めた。

[高校生ふれあい体験事業]

・次世代を担う高校生が子育てを学び体験する高校生ふれあい体験事業は、乳幼児と触れ合うことが醍醐味であるが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。

[青少年体験学習推進事業]

・校外でのさまざまな体験を通じて健やかにたくましい青少年を育む学習機会を提供した。

[世代間交流事業]

・伝統文化の伝承や地域の実践活動等を通じて子どもと高齢者の世代間の交流を図る事業は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。

[放課後子ども教室推進事業]

・放課後の安心、安全な居場所づくりのため、川井地区の小学生低学年を対象に放課後子ども教室を年間９２日開設した。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑥	成人の学習活動の支援	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・多様化する学習ニーズに応えるため、生涯を通じた学習機会の提供を行うとともに、生涯学習を通じて地域コミュニティを支える人材の確保・育成を図ります。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	1,991 千円

活動実績・成果

[生涯学習市民のつどい開催事業]

・講師を招いての講演会は見合わせた。活動発表の機会をつくるため、舞台発表を無観客で収録し、後日、YouTube で一定期間、配信した。２団体２５人の参加であった。

[成人式事業]

・新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで開催した。密を避けるため、参列は新成人のみとし、式典の模様はYouTube で生配信した。２５２人の新成人が出席し、出席率は約４１％であった。

[成人学習活動促進事業]

・市民の多様化・高度化するニーズに応えるため、公民館及び生涯学習センターにおいて講座及び教室を企画のうえ実施した。

[高齢者学習活動促進事業]

・高齢者が心豊かに生きがいをもって生活することができるよう講座及び教室を企画したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、多くの講座等を中止した。

[世代間交流事業]（再掲）

・伝統文化の伝承や地域の実践活動等を通じて子どもと高齢者の世代間の交流を図る事業は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。

[みやこ市民カレッジ運営事業]

・公民館及び生涯学習センターで行う講座等のほか、男女共生推進センターや勤労青少年ホームで行われる講座等を市民カレッジニュースに取り上げ、情報提供を行った。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	２	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑦	生涯学習関係活動団体の支援	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・生涯学習活動や地域づくり活動を行う団体等に対して、継続的な活動と活性化が図られるように助言や支援を行います。これらの団体と連携して、多様化する市民の価値観や学習ニーズに対応した学習機会の提供を図ります。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	359 千円

活動実績・成果

［生涯学習関係団体育成事業］

・宮古市地域婦人団体協議会が行う事業を支援するため、事業費補助金を交付した。

［生涯学習講師派遣事業］

・市民グループ等７団体に延べ１４回の講師派遣を行い、延べ１１８人の自主学習を支援した。

［出前講座（まちづくりふれあい講座）］

・全７４講座を企画し、市民グループ等１２団体（延べ１９６人）が、延べ１７講座を活用し、意欲的に学びを深めた。

「生涯学習の推進の総括」

① 推進体制の充実

・庁内各部署で実施する事業のうち、生涯学習につながっている事業がさまざまある。事業の連携や統合、共同実施により効率的、効果的に進めることができるものは積極的に連携等を進める必要があります。

② 学習環境の整備

・社会教育施設の老朽化が年々進んでいます。国の補助金など財源を確保しながら計画的に改修工事を進めていく必要があります。

③ 読書まち宮古の推進

・新型コロナウイルス感染防止の観点から「おうち時間」が増えたことから、読書に親しんでもらうために、新刊図書を購入し、蔵書を増やしました。

④ 学校・家庭・地域の連携と協働

・コミュニティ・スクールの設置が義務化されることを見越して、順次コミュニティ・スクールの導入を進める必要があります。それと同時に、「地域とともにある学校」「学校を核とした地域」をつくるため、地域学校協働活動の取組みを広げ、学校・地域・家庭が一体感をもったより良い関係を築いていく必要があります。

⑤ 家庭及び青少年の学習活動の支援

・新型コロナウイルス感染防止の観点から、講座や教室など各種の自主事業は定員を抑えて実施しました。

・旧市町村地域ごとに行ってきた家庭教育学級は、少子化の影響で参加者が減少しています。参加者の確保に苦慮している地域もあり、家庭教育事業の在り方を検討する必要があります。

⑥ 成人の学習活動の支援

・生涯学習市民のつどいは、舞台発表を収録して後日 YouTube で配信するという試みを行いました。参加した団体は自分たちの姿を見て、励みになった様子で好評でした。

・成人式は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新成人の協力もあり、無事に終えることができました。

⑦ 生涯学習関係活動団体の支援

・新型コロナウイルス感染防止の観点から、講師派遣事業及び出前講座を活用して自主的に学ぼうとする市民グループは例年より少なかったですが、学びを支援するため、引き続き実施していく必要があります。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	①	推進体制の充実	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・健康寿命の延伸、障がい者スポーツなどへの関心の高まりに対応するため、関係団体と連携し、生涯スポーツの推進体制の充実を図ります。スポーツツーリズムによる交流人口の拡大に向けて、合宿等の誘致を推進します。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	11,446 千円

活動実績・成果

[スポーツ・レクリエーション推進体制整備事業]

・市民のスポーツ・レクリエーションの意識の高揚を図るため、スポーツ推進員の派遣、会議を実施した。一般財団法人宮古市体育協会が行う活動を支援し、スポーツ・レクリエーションの推進を図った。

・日本体育大学との「体育スポーツ振興協定」を活用し、「宮古市健康長寿を実践するための５カ条」を制定した。

[スポーツ・レクリエーションの情報発信]

・スポーツイベント等の情報を広報みやこやホームページを通じて発信した。また、宮古市健康長寿を実践するための５カ条」を市民に配布し、介護保険課と連携し「宮古市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」にも掲載することで、健康寿命の延伸の意識の醸成を図った。

[スポーツツーリズム推進事業]

・合宿補助金を交付することによりスポーツを通じた交流人口の拡大を推進した。仙台市で開催された合宿相談会やオンラインでの首都圏の大学との合宿相談会に参加し、合宿誘致の推進を図った。

・令和２年度は早稲田大学応援部の合宿が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和３年度に延期となった。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	②	指導者等の確保・育成	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・市民の多様化する要望に応えるため、指導者の育成やスポーツリーダーバンクの充実による指導者の確保を図ります。協定を締結した大学等と連携しながら、指導力の向上を図る研修会等に取組みます。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	8,554 千円

活動実績・成果

［指導者養成研修事業］

・日本体育大学との「体育スポーツ振興協定」に基づく委託事業である「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ」と「陸上競技選手育成強化支援」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

［スポーツ推進委員研修事業］

・新型コロナウイルス感染症の影響から開催回数を少なくせざるを得ない状態であったが、スポーツ推進委員のニュースポーツ研修会（シーカヤック体験）等を開催した。スポーツアクティビティを体験することで競技スポーツ以外の知見を深めた。

［リーダーバンク事業］

・生涯学習まなびガイドのスポーツボランティアの充実と高校生指導者サポーター制度、企業によるスポーツを応援する取組みを認証するスポーツサポートカンパニーについて検討を進めた。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	③	活動機会の提供	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・ライフステージに応じた競技会、生涯スポーツ及びスポーツ・レクリエーション活動を推進します。若者に関心が高いエクストリームスポーツ、スポーツクライミング、自然を活用したスポーツ等、新しい分野のスポーツについて、体験する活動を関係機関と連携のうえ提供します。各種大会等を開催するほか、スポーツ・レクリエーション団体の支援、総合型地域スポーツクラブの育成・普及を図ります。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	11,154 千円

活動実績・成果

[スポーツ・レクリエーション活動支援事業]

・宮古サーモン・ハーフマラソン特別大会の開催に対して補助を行った。

・東京 2020 オリンピック、パラリンピックに向けたホストタウン交流の醸成を図る目的として、ホストタウン給食（市内全小中学校）を２回開催した。併せてホストタウンの文化等を学ぶ機会としてホストタウン学習会（ナミビア、シンガポール）を２校で開催した。また、パラリンピック競技等（ボッチャ、タグラグビー）体験会等を８小中学校で開催した。

[活動機会の提供]

・地域住民が日常的にスポーツ・レクリエーションを親しむ場として、小中学校の体育施設を開放した。

・一般財団法人宮古市体育協会へ補助金の支援を行い、各競技団体の大会開催、教室開催等の振興を図った。なお、新型コロナウイルス感染症の影響から「小学生ドッジボール大会」「小学生縄跳び大会」「スポーツチャレンジ事業：高田式体育教室のダイヤモンドキッズカレッジ」は中止した。

[統合型地域スポーツクラブ育成・普及]

・総合型地域スポーツクラブの制度の改定に伴う研修会等に参加し、総合型地域スポーツクラブの登録制度に係る情報交換を行った。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	④	選手の育成強化	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・トップチーム、トップ選手の高度の技術や施設に触れる機会を提供することで、選手の意欲増進と競技力の向上を図ります。各団体が行う講習会や上位大会に進出した選手・チームの大会参加に対して支援を行います。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	8,554 千円

活動実績・成果

[スポーツ選手育成強化事業]

・各種競技協会における育成強化事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業数が減少し、２団体の実施であった。なお、陸上競技選手育成強化支援事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

[スポーツ少年団活動等支援事業]

・全国大会に出場する選手等（３件）に賞賜金を交付した。児童生徒のスポーツ活動の振興を図るため、宮古市児童生徒大会等参加費補助金により９件の支援を行った。

[指導体制の充実]

・スポーツ推進員を対象としたニュースポーツ研修会を開催し、シーカヤックの体験を行った。競技スポーツ以外のスポーツアクティビティを体験し自然を生かしたスポーツの楽しさを学んだ。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、日本体育大学と連携による「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業」や「陸上競技選手育成強化支援事業」は中止した。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	⑤	スポーツ環境の整備	生涯学習課

施策・基本事業の方向

・生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、体育施設を適切に維持管理します。老朽化した体育施設については、計画的に改修などを行います。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	329,408 千円

活動実績・成果

［田老野球場災害復旧工事］

・令和元年度からの繰越事業として、令和元年度台風１９号の被害を受けた田老野球場の災害復旧工事を行った。災害復旧工事（グラウンド舗装工事、建築工事、電気設備工事、機械設備工事）は、令和２年７月に完了した。

［市民総合体育館施設設備改修事業］

・市民総合体育館の照明をＬＥＤ化する工事を実施し、排煙装置の修繕における実施設計業務委託及び市民総合体育館の備品購入としてバレーボール支柱や支柱カバー等の更新を行った。

［体育施設改修事業］

・生涯学習課が管理する体育施設において、維持管理に伴う修繕等を実施した。

［多様化するニーズに対応する活動支援］

・新型コロナウイルス感染症対策として、体育施設のトイレ水洗化（簡易水洗）及び手洗器の自動水栓化、自動検温機の整備、衛生用品の配置等を行った。

［学校施設の開放事業］

・小学校（１５校）、中学校（１１校）で学校開放事業を行い、年間 94,863 人の利用実績があった。

「スポーツ・レクリエーションの振興の総括」

① 推進体制の充実

・一般財団法人宮古市体育協会、スポーツ推進委員、協定を締結している大学と連携・協働した推進体制を継続していますが、健康寿命の延伸に係る取組みとして、「シルバーリハビリ体操」を実践している団体と更なる連携が必要です。

・スポーツイベントによる交流人口の拡大において、スポーツイベント等を支えるボランティアの確保が必要です。

・「宮古市健康長寿を実践するための５カ条」を市民の健康寿命の延伸の取組みの目安として、「シルバーリハビリ体操」を実施している団体と連携を進めます。

・スポーツイベントへのボランティアの参加やスポーツ・レクリエーションの取組みを行っている企業の認証制度を構築します。

② 指導者等の確保・育成

・スポーツ推進委員の研修会をはじめ、一般財団法人宮古市体育協会による指導者講習会等により市内のスポーツ少年団等の指導者の資質向上を継続して行っていますが、未来を担う指導者の育成を進める必要があります。

・協定を締結している大学と連携した指導者の研修会等は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視して実施する必要があります。

・高校生の指導者サポーター制度による指導者の育成を図ります。

・協定締結をしている大学のほかに、岩手県が行っている指導者への研修等も活用し指導者の育成を推進します。

③ 活動機会の提供

・宮古市を代表する親水空間である宮古港を活用した「宮古湾カッターレース」を市外県外から多くの参加者が集まる大会と位置付け推進する必要があります。

・田代地区の野外活用センターの活用について、田代地区の振興を踏まえた活用方針を策定する必要があります。

・「宮古サーモン・ハーフマラソン大会」においては、新コース公認の取得を行います。令和３年度は新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら、特別大会としての実施も視野に入れながら活動機会の提供を図ります。

・宮古市野外活動センターの活用について、田代地区の地域住民や宮古市の関係部署と連携しながら、市民農園、農産物加工施設、旧亀岳小学校も含めた田代地区の振興を図る活用方針を検討します。

④ 選手の育成強化

・賞賜金や大会参加補助金による支援を継続して行い、大会参加を継続して支援します。

・首都圏の大学との体育スポーツ振興に関する協定に基づいた「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業」による首都圏の大学での施設体験や研修事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し令和３年度は中止しました。

・市内の競技団体に対して、一般財団法人宮古市体育協会を介して育成強化に係る事業を展開します。

⑤ スポーツ環境の整備

・老朽化した体育施設、備品等については、宮古市公共施設再配置計画（実施計画）に基づき、計画的な改修を行います。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	①	芸術文化の推進	文化課

施策・基本事業の方向

・市民文化会館を芸術文化活動の拠点施設と位置づけ、多くの市民が参加する市民文化祭や市民劇など市民文化会館が実施する事業を通して、市民の自主的、創造的な芸術文化活動を推進します。芸術文化団体の基盤強化や人材育成の観点から、これらの団体が行う芸術文化活動を支援します。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	199,031 千円

活動実績・成果

［市民文化会館管理事業］

・市民の芸術文化の拠点施設である市民文化会館について、指定管理者制度により、効果的、効率的な管理運営を行った。また、ＰＣＢ廃棄物処理業務や大ホール天井改修基本設計業務、芸術鑑賞事業「岬のマヨイガ」公演業務を委託した。

・新型コロナウイルス感染症対策のため、対策用消耗品（消毒液、除菌スプレー、非接触型体温計等）を購入した。また、自動検温器はリースのほか、２台を購入した。施設内の給水栓については、自動水洗化改修工事を実施した。

［文化振興一般事業］

・芸術文化を通じて市民に安らぎを与え、心を癒す役割を果たす事業（イーストピアみやこ寄席、岩手芸術祭巡回小中学校美術展、宮古市所蔵絵画展示）を実施した。

［文化振興一般【震災対応分】］

・被災地復興支援に取り組む演奏家によるコンサートを開催した。

［心の復興事業【震災対応分】］

・多くの市民に芸術文化鑑賞の機会を提供し、震災からの「心の復興」を推進するため、みやこ復興寄席（延期公演及び通常公演）を開催した。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	４	文化の振興	担当課名
基本事業	②	文化財の保存と活用	文化課

施策・基本事業の方向

・文化財保護法の一部改正に伴い、文化財保存活用地域計画の策定に取組みます。市内の多種多様な文化財を、次の世代まで保存・継承を図るために、崎山貝塚縄文の森ミュージアムと北上山地民俗資料館並びに小国分館及び埋蔵文化財センターを拠点とし、文化財の調査・研究・公開に取組みます。民俗芸能については、伝承団体への支援を継続するとともに、学校活動も含めた地域文化の映像記録保存に取組みます。

事務事業費（令和２年度決算見込額）	106,407 千円

活動実績・成果

[文化財保存・管理事業]

・市指定文化財の環境整備や現況確認、文化財収蔵資料の保存管理を行い、さらに文化財の保存･活用について意見を聴取するために１０月と２月に文化財保護審議会を開催した。

・宮古市文化財保存活用事業費補助金交付要綱を制定し、市指定文化財黒森神社本殿修復に補助金を交付した。

・区界地区の田代念佛剣舞について調査を行い、１１月に岩手県無形民俗文化財に指定された。

[郷土芸能記録作成事業]

・新型コロナウイルス感染症の影響により１年先送りとした。

[埋蔵文化財調査事業]

・個人住宅等の建築に伴う試掘調査を７件実施し、予定していた全ての調査を期間内に終えることができた。

・蟇目埋蔵文化財収蔵庫の維持管理を行い、近内中村遺跡調査報告書刊行のための資料整理作業を進めた。

・復興関連発掘調査では、調査成果をまとめた報告書刊行のため資料整理作業を進め、予定していた５遺跡の報告書を全て刊行することができた。

[文化財公開・活用事業]

・文化財に対する市民の理解を深めるために、崎山貝塚縄文の森ミュージアムを拠点として、企画展や各種講座・イベントを行った。令和２年度の入館者数は3,490 人、縄文体験者数は５０２人であった。

[崎山貝塚縄文の森公園管理事業]

・崎山貝塚縄文の森公園の草刈りなどの環境整備を随時行い、さらに崎山貝塚縄文の森公園複合施設の各種点検業務を行うことで適切な維持管理を行った。

[北上山地民俗資料館管理運営事業]

・所蔵する有形民俗資料についての理解を深めるために、市民を対象として各種体験講座や企画展を行った。令和２年度の入館者数は1,020 人、正月飾り作り、布ぞうり作り、昔の技術での小物作りの体験者数は２６２人であった。また、展示施設の維持管理や国指定重要有形民俗文化財を含む所蔵資料の保存管理についても適切に行った。

令和２年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	４	文化の振興	担当課名
基本事業	③	市史の継承	文化課
施策・基本事業の方向 ・古文書などを収集、保存し、市史資料として後世に継承するとともに、その公開や活用を推進します。			
事務事業費（令和２年度決算見込額）			2,858 千円
活動実績・成果			
［市史編さん事業］ ・盛合家文書の目録作成及び東屋文書の整理・コピーを継続して行った。 ・鈴久名の大洞家文書の資料提供を受け、整理・コピーをして返却した。 ・国土地理院ホームページの自然災害伝承碑に、市内の津波とフェーン大火に関する石碑３９基を追加で登録し公開された。			

「文化の振興の総括」

① 芸術文化の推進

・市民の芸術文化活動の拠点施設である市民文化会館の管理運営については、指定管理者の専門性を生かした事業実施により、効果的で効率的な運営を行いました。

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の芸術文化団体等には、文化課内に設置した相談窓口を通し、活動を支援していく必要があります。

② 文化財の保存と活用

・文化財は、地域の歴史を伝える貴重な財産であり、これを後世に継承するために各種文化財の調査・研究と保存・活用を行いました。
今後は、令和５年度までに策定する宮古市文化財保存活用地域計画の方針に沿って、文化財保存・活用事業を進めていく必要があります。

・崎山貝塚縄文の森ミュージアム及び北上山地民俗資料館では、常設展示のほか、市民や観光客向けに様々な企画展示や体験学習、文化財講座等を実施しました。
今後は、出張展示や市内の施設と連携した事業の実施やＳＮＳなどを活用した新たなＰＲを行い、市民や観光客が地域の歴史について関心が高まるような企画運営に努めていく必要があります。

③ 市史の継承

・今後も、古文書、史跡、建造物など様々な文化財を地域の文化遺産として継承及び顕彰し、市民の地域への愛着につながるよう取組みを進める必要があります。

４　学識経験者の意見

（1）宮古地区退職校長会事務局長　袋岩敏雄氏の意見

教育委員会の活動状況及び総合教育会議の開催状況及び審議内容について、適正に公開で開催され、重要な内容で協議されたことを確認しました。

教育委員会会議の開催状況及び審議内容について、定例会、臨時会とも適正に審議されたことを確認しました。

学校教育の充実

・放課後学習支援員２人を配置し、市内１０小学校での放課後学習支援が行われ、学習の定着が図られています。さらに学習支援の機会が増えることを期待します。
・小中学校でＡＬＴ５人の派遣により、コミュニケーション能力の基礎を育まれており、「外国語活動」、「外国語」教育が充実することを期待します。
・学校図書館支援員１１名を配置し、児童生徒の読書に対する意識が高められました。
・新型コロナウイルスで交流事業は中止となりましたが、作品交流など工夫されていました。
・市内全小中学校でフッ化物洗口事業が実施され、虫歯予防の効果が期待されます。
・学校給食では、全小中学校での食育指導の実施を始め、「ナミビア共和国」と「シンガポール共和国」にちなんだ給食の提供など充実しております。
・「幼児ことばの教室」は、就学前の子どもと保護者にとって大切な事業となっています。
・特別支援教育支援員３２人、介助員２人の配置により、支援が充実し、一人ひとりの成長につながっています。
・「サーモン教室」は学校とよく連携し、児童生徒の学校復帰と高校進学につなげ、成果をあげています。教育相談員による「教育相談事業」も連携が図られています。
・部活動指導員の配置により教職員の勤務負担軽減、多忙化解消に向けての取組みが進んできており、多くの中学校に配置されることを期待します。
・令和３年度から１０年間の「小中学校施設長寿命化計画」策定され、学習環境がさらに改善されることを期待します。
・熱中症対策の冷房設備設置工事、コロナ対策の手洗い器自動水洗化工事など、学習環境や学校安全に配慮されております。
・教育用コンピュータ整備でタブレットが配備され、ＩＣＴ教育がさらに充実されると期待しています。
・「教育委員会だより」は、全世帯配布、ＨＰ発信で宮古の教育の理解に役立っています。
・大学生修学継続支援事業（新型コロナ）で多くの学生（７８７人）に支援金が支給されたのを始め、新型コロナに対応した多くの事業が実施されました。
・学校教育の充実に向けて、学校、家庭、地域と連携して推進することにより成果をあげていることを、７基本事業の施策・基本事業の方向、３９事業の活動実績・成果、「学校教育の充実の総括」から確認しました。

（2）宮古市社会教育委員　三村敬之氏の意見

教育委員会の活動状況について、教育委員会の組織構成や体制の確認、更には総合教育会議の会議開催及び教育委員会会議の定例会、臨時会の開催ともに適正に審議されたことを確認しました。

生涯学習の推進

・施設の老朽化による改修工事等費用の財源問題、学習ボランティアや地域コーディネーターの人材確保の問題があると思われますが、引き続き生涯学習の環境施設の維持や管理、人材の育成や配備に取り組んでいただきたいと思います。
・新型コロナウイルスにより、事業や講座等の実施が難しい状況ではありますが、感染防止対策を徹底し定員を抑えての複数開催やオンラインによるイベントの実施開催を検討し、可能な限り生涯学習の推進・支援を進めていただきたいと思います。

文化の振興

・引き続き地域の財産とも言える文化財の調査研究、管理保存や活用に取り組んで頂きたいとともに、主に若い世代の方々に地域の魅力ある芸術文化が継承されていくような取組を進めていただければと思います。

（3）宮古市スポーツ推進審議会委員　石崎勝正氏の意見

教育委員会の活動状況について、教育委員会会議の定例会、臨時会の開催ともに適正に審議されたことを確認しました。

スポーツ・レクリエーションの振興

・宮古市体育協会、宮古市スポーツ推進委員及び関係団体と連携し、生涯スポーツの推進と強化の体制を図り実現することを期待します。
・指導者育成には、地元企業で働いている方々の協力が必要ではないでしょうか。そのためには企業の協力と指導者の育成を図るため、処遇改善を検討してはいかがでしょうか。
・少子高齢化が加速しており、時代に沿った大会等の開催を願います。総合型地域スポーツの育成を勧めることと、同時に指導者の専門性が問われてくると思います。スポーツを楽しむ環境の整備やアスリート育成の掘り起こしを引き続き進めることを希望します。
・各種目の競技力の向上を図るため、講習会や高度な知識を兼ね備えているコーチの実技指導を願い、選手の技術向上のため継続的に計画することを希望します。
・震災や、老朽化した体育施設の復旧、改修等の工事は進んでおり、教育委員会には速やかな対応に感謝するものであります。体育施設を構築するため、経験者を配置して施設管理と運営を市から宮古市体育協会に移管することが望ましいと思いますがいかがでしょうか。
・市と宮古市体育協会と連携し、スポーツ指導者の知識を高めるため研修会等に積極的に参加させ、児童生徒のスポーツ活動の質と向上を図ることで地域活動の普及に繋げると思いますので引き続きお願いいたします。

（4）宮古市社会教育委員　小野寺文雄氏の意見

教育委員会の活動状況について、教育委員会会議の定例会や、臨時会において教育行政の堅実な運営がなされていることが確認できました。年間１７回もの会議に出席される委員の皆様や、対応されている事務局の皆様に感謝いたします。

ただ、資料を見て感じたことは、件名の内容について、可能な部分だけで結構ですので、簡単な概要を何かの形でお示しいただければ、と思っております。

文化の振興

・令和２年度は、新型コロナウイルスによって発生した様々な問題点への取組みと対応が適切に進められていること、更に、心を癒す芸術文化活動と支援が精力的に行われていることが評価できます。
・コロナ禍にあって、活動が制限されたり自粛してきている文化活動も、次第に活発化してきていると感じています。今後に向け、市民と共に前向きな活動を推進して参りたいと思っています。
・地域における文化財への対応が堅実になされていることが確認できます。文化財関係の情報については、市民向けをはじめとして様々な方面への情報発信にこれまで以上の工夫と必要性があるのではないかと感じています。
・近年、縄文時代への注目度が高まってきていますが、その分野で高く評価されている宮古市の研究や取組みに期待しています。
・市史については、宮古市の過去の歴史を継承していく取組みが継続してなされており、その取組みが評価できます。今後も、各地域に埋もれている歴史的な史実の発掘と伝承、公開を推し進めていかれる事に期待しています。

５　おわりに

新型コロナウイルス感染症により、社会活動の制限など様々な影響がある中、これまで当たり前に活動していた学校教育、社会教育及び地域の歴史や芸術文化の役割や意義を再確認していく必要があります。

人口減少が進む社会において、市民が健康で豊かに過ごすため、地域とのつながりを保ち、一人ひとりが個性を伸ばしながら学び続けることができる環境づくりが重要になってまいります。

東日本大震災から１０年が経過しましたが、震災後も大きな自然災害が発生しております。

教育委員会では、東日本大震災及び自然災害を含む被災世帯の児童生徒の就学支援や心身のケアを最優先で取り組んでまいります。今後も震災の教訓を生かし、学校、家庭、地域の協働によるコミュニティ・スクールの取組みにおいて、防災教育を位置づけ、過去の歴史とともに、地域理解を深めていく学習を進めてまいります。

新しい生活様式を踏まえた学校教育及び社会教育の推進、スポーツ・レクリエーション及び文化の振興に取組み、地元への愛着や誇りの醸成を図るとともに、今後も教育行政の核である児童生徒、保護者、地域、そして市民の視点に立って、連携、協働を深め、未来を見据えながら、教育行政を全力で推進してまいります。

今回、外部評価として学識経験者の方からいただきましたご意見やご指摘については、教育現場の意向や実態等を考慮しながら、可能な限り教育施策に反映させていきたいと考えております。

最後に、この点検・評価を実施するにあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました方々並びに関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。